

りする悪質な店があります。
信用のある店を選び、購入前に品物を確認することが大切です。なお、クレジットカードを使う際には、サインをする前に金額が間違っていないか、通貨の単位が記入されているか、しっかりと確認しましょう。

薬物には絶対に手を出さない
薬物犯罪については、多くの国が取り締まりを強化しており、死刑を含む重い刑罰が科せられます。実際、軽い気持ちで薬物に手を出した人や知らないうちに「運び屋」を請け負った人の中には、その後の人生を台無しにするほどの重い刑罰を科せられた例もあります。中身の分からない荷物を預かることや、薬物に手を出すことは絶対にやめましょう。

ホテルの中でも安心しない
「ホテルに帰れば一安心」と気を緩めてはいけません。ホテルのロビーでは置き引き、エレベーターや部屋の中でも強盗の被害に遭うことがあります。
特に格安のホテルでは、セキュリティも不十分なため

宿者による窃盗も数多く発生しています。高級ホテルでも、外部の人間が従業員を装って犯行に及ぶ場合もあります。
部屋にいるときは、必ず防犯チェーンを掛け、ノックされても不用意にドアを開けず、まず相手を確認するといった防犯対策を心掛けましょう。

渡航先の知識をもとに

海外でのトラブルを避けるためには、現地の治安、法律などの詳細な地域情報や、海外で日本人が経験したトラブルの実例を知ることが最善の予防策となります。事前の情報収集が安全で楽しい渡航を実現させるカギになります。

渡航先の治安情勢

外務省では、治安の悪化、騒乱、災害、あるいは緊急事態の発生並びに感染症などの衛生状況により、危険性が高まっていると判断した場合に「危険情報」を发出しています。外務省のホームページなどで危険情報を確認し、安全な渡航計画を立てましょう。

犯罪手口や防犯対策

海外のトラブルで一番多いのは窃盗被害で、次に多いのは遺失です。スリ、置き引きなどは、貴重品の管理の方法、手荷物の持ち方などの基本的な対応策をとることで大半の被害を防げます。このほかにも、海外ではさまざまな犯罪が発生しています。これらも多くは、現地の情報や犯罪の傾向・手口などを知っていれば、回避できます。海外安全ホームページで紹介している「海外邦人事件簿」や、「海外安全ホームページ」よりダウンロード可能な小冊子「海外安全虎の巻」などで、世界各国で共通する犯罪事例や犯罪対策、各国、地域で多発する犯罪の傾向を紹介しています。

現地の法律、風俗や習慣

旅行先では、その国の法律・慣習に従って行動しなければいけません。日本では比較的軽いと見なされている犯罪でも、国によっては想像もできないほど重い罪にあたることもあります。各国の法律は、その国の宗教や文化などと密接につながっていることもありま

旅行中は、国によって法制

度、宗教など、文化の違いがあることを認識し、その国の法律を守り、風俗や習慣に配慮した行動を常にとるよう心掛けましょう。

健康、医療

渡航先で流行している感染症などはもちろん、医療機関に関する情報を収集しておくことも大切です。また、海外旅行時には、日本と異なる言語、習慣、文化、また長時間のフライトや時差、気候や食事の違いなどからストレスや疲れがたまりやすくなります。旅行先では、無理のないスケジュールを立て、体調管理やメンテナンス・ヘルスにも気をつけましょう。

万一、トラブルに遭遇したら

海外旅行中、万全の注意を払っても事件や事故に巻き込まれる可能性が全くないとはいえません。万一、けがや病気、携行品の盗難被害などのトラブルに遭ったときのために、トラブル発生時の対処方法をチェックし、緊急連絡先リストを作って持って行きましょう。そのうえで、「海外旅

行傷害保険」への加入をお勧めします。

家族などには、海外でのスケジュール表と滞在先を渡し、相互に連絡がとれる手段を確保しておきましょう。万一、渡航先で大規模な災害や事件などがあつたときは、必ず家族に安否を知らせるとともに、最寄りの在外公館にも自己の状況を連絡してください。

海外で予期しないトラブルに巻き込まれた場合、とっさの判断や行動で被害を最小限に留められるよう、渡航前に意識を「海外モード」に切り替え、「自分の身は自分で守る」という心構えをしっかりと持ちましょう。

渡航前に必ずチェック！
『海外安全ホームページ』
 外務省の「海外安全ホームページ」では、国・地域別に危険情報・スポット情報、安全対策基本データ、テロ概要などの渡航情報を提供しています。
 アドレス
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>